

令和元年度 第3回東京都相談支援従事者研修検討会 議事録【要旨】

日時 令和元年10月8日（火曜日） 午前10時30分から午前12時まで
 会場 東京都心身障害者福祉センター 12階研修室
 出席者 佐藤委員、秋元委員、塚田委員、堤委員、杉田委員、池田委員、藤井委員、中島委員、
 花形委員、吉澤委員、北川委員
 報告者 一般社団法人JUNE障がい者相談支援センター樹音 安井氏（国研修受講） 他5名
 傍聴 3名
 事務局 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長森下 他5名

1 開会

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料確認 次第 資料1 令和元年度相談支援従事者指導者養成研修（国研修）受講報告書 資料2 令和元年度相談支援従事者指導者養成研修プログラム 資料3 令和元年度相談支援従事者指導者養成研修資料抜粋（カリキュラム見直しのポイント） 資料4 私たちが目指す相談支援専門員の姿 Ver.6 参考資料 相談支援従事者研修事業実施要綱 ・本日は、傍聴者がいること、また、記録のための録音及び今回の検討会議事録（要旨）は、ホームページ公開対象であることについてご了解いただきたい。 ・議事の1つである国研修の受講報告のため、委員ではない国研修受講者にも出席していただいている。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・次第の内容で議事を進める。 ・最初に国研修で伝達されたことについて、委員間で共有すること。 ・もう1つが国研修の内容を踏まえ、改めて初任者研修・現任研修の新カリキュラムの方向性を確認し、教材づくりの具体的なスケジュールを決定すること。 ・以上が本日の到達点である。

2 検討事項

(1) 令和元年度相談支援従事者指導者養成研修での伝達事項の要点について

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、国研修を受講された方から、報告いただきたい。 ・最初に初任者研修を堤副委員長から、続いて、現任研修を中島委員から報告いただきたい。 ・3番目に相談支援従事者研修を実施している自治体として、足立区、世田谷区の順に報告をお願いする。 ・最後に東京都からの報告という順番で進める。 ・まずは、初任者研修について堤副委員長に報告をお願いする。
-------	--

堤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初任者研修について、国研修で示された留意点等を報告する。 ・ 講義と演習の関連性がとても強く、更に初任者研修・現任研修・主任研修のつながりについても、構成、ストーリー性を持ってつくることが強調され、大きく変わった印象を持った。 <p>(以下、資料1に沿って報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一緒に行った方で補足があれば、お願いしたい。
杉田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補足なし。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国研修受講者として参加した一般社団法人 JUNE 障がい者相談支援センター樹音の安井氏から、感想や視点を教えていただきたい。
安井氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度、初めてこの相談の研修に参加した。 ・ 来年度から大きく変わるインターバルの部分はどうするか、どのように地域で受け皿をつくるのかといったことに、若干不安を感じた。 ・ 持ち帰るものが非常に多く、帰ってから事業所の職員にもフィードバックをしたところ、変更部分の共有ができ良かった。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題は多いが、整理されているので、これを基にカリキュラムの方向性を検討できればと考える。 ・ 質疑応答の時間を取りたいがいかがか。
委員	(質疑なし)
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現任研修の報告をする。 ・ 今回の国研修で、現任研修の演習部分については、少し触れた程度なので、講義部分の報告として聞いていただきたい。 <p>(以下、資料1に沿って報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度は演習部分だけだったのが、今回、講義部分を聞いてしまうと、演習自体も去年都で考えた流れではなく、国と同じような流れを作っていないと、一貫性がなくなってしまうと感じた。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人長岡福祉協会の新橋はつらつ太陽の辻氏からも国研修に参加して得た現任研修のポイントを教えていただきたい。
辻氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安井氏と同様に初めて国研修に参加した。 ・ それぞれの研修に、明確な目標があり、初任者研修は即戦力となる相談支援専門員が生まれるのではないかという期待、現任研修は地域を動かしていくことができる人材を育てていくということが明確に出ていると感じた。 ・ 課題として、インターバル期間のルールや、来年度の東京都の実施予定を勘案すると、スピード感が求められると感じた。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貴重な意見をいただいた。 ・ 内容について質疑応答はいかがか。
吉澤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中島委員の報告だが、講義との連動を考えると、グループスーパービジョンの方法論を活用したほうが良いということか。

中島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 去年までの流れだと、東京都で考えていた新カリキュラムは、1つの事例に着目して、エコマップを使った中での検証という形だったが、やはり、国と同じ形で、グループスーパービジョンを実施する体験をしたほうが、研修としての連動性や手法として良いと考えた。他の人からも同様の意見があった。
吉澤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ その場合、4日目のスーパービジョンの単元との棲み分けはどう考えるのか。同じ方法論で演習を実施するが、目指す目的や獲得するものが異なるということか。
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2日目、3日目の具体的なことは今回示されず、去年話した内容しかない。確かに4日目とのつなぎや手法については、東京都で再度検討の必要があると考えた。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確かに重なりがある印象は持つ。 ・ 他にはいかがか。
藤井副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現任研修では、地域を活用するという流れになったが、地域に戻ったときに、地域でこういう人材を育てるという意味の事例としては、つながりが薄い印象だったということか。
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 繰り返しになるが、今回の国研修では演習の部分がなかった。今回の国研修の講義と同様に行う場合、国どおりのことを実施したほうが良いと考えた。 ・ 現任研修チームでは、先に演習部分を構築し、都独自の方法で実施予定だったので、そこと今回示された講義をどのように調整するか難しいと考えた。
藤井副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の中では特に活動はせず、事業所の中で頑張ってきたというような人のレベルでも、現任研修をきちんと受講すれば、地域を活用するところまで到達できるイメージができる研修だったか教えていただきたい。
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の東京都の現任研修は、地域をつくるどころまで到達しているので、それが一歩下がる形になるかもしれないと感じた。 ・ しかし、初任者研修段階から自分の事業所だけで地域を活用する視点を持ってくださいというメッセージ性は講義部分であった。 ・ 今の東京都の現任研修は初任者研修修了の翌年の人や現場で従事していない人も受講している。 ・ 新カリキュラムでは初任者研修から2年以上経過し、現場で相談支援に従事している人を対象とし、初任者研修からプラスアルファされた研修、ステップアップした研修という位置づけで活用するため、講義部分でコミュニティーワークという言葉が使われていることに、メッセージがあると感じた。 ・ 東京都は、演習指導者養成研修とつながっていく形になると考えるが、主任研修もあるので、どうつなげていくかは考える必要がある。
吉澤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先ほど、地域に関しては、初任者研修が「知る」、現任研修が「活用する」、主任研修が「つくる」というレベル設定をするとの話があった。 ・ 地域をアセスメントしていくと、必ずその地域課題に直面することになる。その取扱いは把握した以上放置せず、きちんと向き合っていくことも相談支援の責務だと東京都のチームとしては現任研修の内容に入れていた。 ・ 国としては浮き上がってきた地域の課題については、どう取り扱うことになっていたのかを教えていただきたい。

中島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今の印象としては、自分がどのように地域課題に対して実行していくかという具体的な部分は、やはり主任研修 ・現任研修に関しては、課題を地域に持っていくところまでなので、自立支援協議会の説明や地域づくり展開は講義の中にあるが、具体的に主体となって動くのは主任研修だと感じた。
堤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・国のワーキングに参加しているので補足するが、国のワーキングでは、地域づくりという自立支援協議会のみという傾向がある。 ・地域づくりは自立支援協議会だけではなく、今、東京都が現任研修でやっているような商店街や色々なところに具体的に働きかけていくというのでもあるのではと発言しているので、意見が分かれた感じはある。 ・国研修の現任研修の演習企画立案のポイントについて、個人メモなので共有したか不明だが、事例検討は全員行うほうが良い、2日目にチームアプローチがあって、地域づくりは今の現任研修とほぼ同じ内容で行っていい、最後のグループスーパービジョンは講義と同じように行うほうが良いと残っている。 ・個人的には東京都の個性を活かして、地域づくりの部分は、国の考え方を一歩越えてもいいのではないかと考えている。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・現任研修、初任者研修の棲み分けやつなぎというのは、検討に時間がかかるだろうという印象を持つが、よろしく願います。 ・各自治体ということで、足立区と世田谷区から報告をいただきたい。 ・足立区から願います。
山崎氏	<ul style="list-style-type: none"> ・足立区は東京都の指定を受け、平成28年と29年に初任者研修、平成30年度に試行として現任研修を実施した。 ・新カリキュラムになるということと、これまで国研修を受講した職員が異動したという経過があったため、足立区からは2人で国研修に参加した。 (以下、資料1に沿って報告) ・先週、これまでの研修講師と簡単な報告及び打ち合わせを行ったところ、東京都でも新カリキュラムでの研修が実施されていない中で、足立区が行うのは荷が重いという率直な意見があった。来年度、東京都の実施内容を経験した後に足立区が実施できるかは未定となっている。 ・足立区としてより力をつけるために、東京都の研修に講師として関わることで自身が相談支援専門員としての質の向上、力をつけることになるので、区の相談支援のネットワーク会議等に積極的に参加している相談支援専門員には東京都の研修に参画するよう働きかけ、まずは我々の力をつけていきたいと考える。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて、世田谷区に願います。
弘岡氏	<ul style="list-style-type: none"> ・当基幹相談支援センターは今年度4月に世田谷区から委託されたので、今回、研修業務を担うに当たり、国研修に参加した。 ・世田谷区の課題として、受講者が自分から研修に臨む姿勢ができるのかということが挙がっており、内部でも話し合いをしている。

弘岡氏	(以下、資料1に沿って報告) <ul style="list-style-type: none"> 世田谷区としては、初任者研修から現任研修、主任研修とつながる研修を考えており、ずっと地域の中でも関わりがつかれていく研修にしていきたいと考える。
長島氏	<ul style="list-style-type: none"> 東京都からは、心身障害者福祉センターの高橋氏と受講した。 (以下、資料1に沿って報告)
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> 国研修の報告はここまでで終了とする。

(2) 初任者・現任・主任研修のストーリー構成案について

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> 2つ目の検討事項「初任者・現任・主任研修のストーリー構成案」について、グループで検討をお願いします。 国研修の報告の中でストーリー性、つながりや連動を明確に打ち出さなければならないことがわかった。グループでも、研修全体のつながりのストーリーという部分に焦点を当てていただきたい。 初任者研修は現任研修へ。現任研修は主任研修へ。主任研修はどのような着地点を持ってくるのか、どういう人材育成をしていくのかといったストーリー性をそれぞれのチームで考えていただきたい。 10分ほどで検討し、その内容を全体で共有する。
(グループに分かれて意見交換)	
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> 現時点でイメージできた部分について、共有していく。 現任研修チームから初任者研修とのつながりを報告すると、連動性が見えると思う。まず、現任研修チームから報告をお願いします。
吉澤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> 現任研修のあり方がどうなるのかと、最初は話し合いに時間がかかった。初任者研修チームと板書内容があまり変わらないので、同じような議論をしたと考える。 資料4(私たちが目指す相談支援専門員の姿 Ver.6)をベースにしたストーリーになるだろうという話をした。 重なりを意識した形で整理できると良いのではないかと、対象として強調されるのは、利用者か地域か援助者かをはっきりしておくという話があった。 主任研修までの連続性は必要だが、現任研修までしか受講しない人も想定しておいたほうが良いのではないかと意見が出た。 一方で主任研修を受講した人は、地域に戻って主任研修と同様のレベルまで現場の相談支援専門員に伝えていくことも重要だろうという話もあった。 意見としてまとめたわけではないが、初任者研修で地域づくりまでは扱わないとなると、例えば「相談支援を実施し、うまくいかないことが発生した場合、それは利用者が原因なのか」という疑問を持つことにならないか。 やはり課題は地域にあって、地域の課題に働きかけるという視点は、初任者研修のレベルでも持っていないと、実際の援助がうまく実施できないのではないかと。だとすると、到達レベルについては理解したが、触れる内容は大きく差別化しなくても良いのではないかと話があった。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> 続いて、初任者研修チームの報告をお願いします。

花形委員	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に、今の「私たちが目指す相談支援専門員の姿」では、各研修を表した四角が全部矢印でつながっているが、四角には重なり合う部分があり、それを「のりしろ」と言われる部分として意識すべきと整理した。 ・その場合、初任者研修、現任研修、演習指導者養成研修、主任研修が順に矢印で進んでいるが、恐らく演習指導者養成研修は現任研修と主任研修のフォローに当たる研修なので、図にすると下に置かれるという整理をした。 ・初任者研修は「知る」、現任研修は「活用する」、主任研修は「つくる」という整理から、初任者研修と現任研修の「のりしろ」について少し詳しく話をした。 ・初任者研修は、個別の支援からその人のライフステージや家族支援を通して地域を知っていく。 ・現任研修は、初任者研修の復習をして、つながりを持ちましょうという話があった。 ・初任者研修の復習に当たる部分として、国研修の意思決定支援の講義であった、「相談支援専門員に必要な8つの視点」での個別の支援は大事ということを最初に持ちながら、チームアプローチやコミュニティソーシャルワークについて話をしていくというつながりが、初任者研修と現任研修の相互から実施できれば「のりしろ」ができるという話をした。 ・最終的には、専門員像のVer. 6だが、用語の整理や統一性を持って作り直す必要があるという話をした。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ストーリーのイメージが出てきた。 ・8つの視点を強調する中で、初任者研修・現任研修の様々な見方を展開しながらということ、初任者研修では個別の広がりから、現任研修ではチームアプローチ、コミュニティソーシャルワークにいくということ、地域課題を最終的にコミュニティソーシャルワークの中で見つけていくところが、大きなキーになると考えた。 ・現任研修チームの板書の図にある対象者等は、全層に関わってくる話として、それぞれ切り分けて考えるのか、複層的に重なっている三層か。
吉澤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・どこを強調するかという部分だと考えた。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の中で対象とそのレベルの受講者がターゲットとする部分ということで、理解する。 ・イメージはできたので、グループ内でお互い意見交換として少し時間を持つ。
(グループに分かれて意見交換)	
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換内容が聞こえたが、藤井委員の発言のとおり、現任研修で終わる人もいるので、コミュニティソーシャルワークができる相談支援専門員を育てなければならないということは、1つ大きなポイントだと考える。 ・また、主任研修の到達点として、初任者研修からのつながりの中で、東京都として最終的にどういう方向を目指すのかは、現時点で明確なものが出ていないので、取りまとめが若干難しいと考える。
堤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今、考えたが、現任研修から主任研修の「のりしろ」としてスーパービジョンが入ってくるのではないか。現任研修で終わる人たちも意識したら、地域づくりと同様に、スーパービジョンもある程度、学んだほうが良いと考える。

堤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現任研修ではスーパービジョン、受けることの心地良さを味わって、主任研修では逆にスーパービジョンを行って人材育成をするという位置づけになると思うので、「のりしろ」はスーパービジョンかと考えた。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現任研修でも人材育成が入ってくると思うが、現任研修の枠の中でのスーパービジョンのあり方も、「のりしろ」というよりは、研修のダイレクトな中身として入るのかと考えたが、いかがか。
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現任研修と主任研修でスーパービジョンについては、本当に「のりしろ」としてあるが、現任研修に関しては持って帰って自分でちゃんとスーパービジョンができる人材になる、主任研修は、地域をスーパービジョンしていく形で、対象が若干異なるので、「のりしろ部分」もあると考える。
堤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恐らく、国研修がイメージしているのは、現任研修でグループスーパービジョンを受けるという意味。東京都が今までやってきたのは、自分のところに持ち帰って即使えるスーパービジョンだった。国はその部分を主任研修で取り扱っている。 ・ 今年度の現任研修の演習で課題焦点型スーパービジョンを受けて「心地良い」と感じた人が半数以上だったので、現任研修で学んだほうがいいのか等、迷うところがあるため、今後の議論によると考える。 ・ 国のイメージだと、スーパービジョンは、行う側ではなく受けることになっていると感じる。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ その点が東京都のオリジナリティとして出てくる部分だと予想される。
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容が異なるが、現任研修と主任研修の重なりや、どう分けるかというところは、東京都のビジョンとして、どう考えるか意見があった。 ・ 今年度の主任研修の受講者数や来年度の受講者数も含めて、どこまでが主任研修の規模で、現任の人たちがどういう形になっていくか、主任研修及び現任研修の東京都としてのビジョンを共有し、決定すべきと考える。 ・ 主任がどんどん増える形なのか、やはり現任が主体で東京は動いていくということか、その部分を固めていったほうが良いと考える。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確かに、早い段階にイメージを固めたい。

(3) 新カリキュラムの方向性と今後のスケジュールの確認

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最後の検討課題について、今までの意見を踏まえて、カリキュラムの検討とカリキュラム教材を作成するに当たり、スケジュールを本日確定させたい。 ・ 58分位までに、新カリキュラムに向けての教材づくりの具体的なスケジュールを方向性も含めて協議し、58分以降に簡単に1分ずつ報告をお願いする。
(グループに分かれて意見交換)	
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ スケジュールについて、方向性と年度末に向けて、年度初めにどういう流れができそうかという内容の報告をお願いする。 ・ 初任者研修チームからスケジュールの大枠を教えていただきたい。

堤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11月12日に集まり、講義の組み立てと講師の選定を行う。 ・ その後、事例を見つけられない人に対するフォローの見直しについて検討、演習指導者養成研修とのつながり等、年度内に諸々の課題の取り組みを行う。 ・ その後、初任者研修、演習のブラッシュアップを行う。 ・ 1月に演習についての国研修がある。それを受けて再度、確定させる時間もほしいので、11月12日以外に2回か3回集まり、年度内に方向性を出す予定 ・ 演習内容更新という課題もあるが、来年度に入らないと難しい。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 続いて、現任研修チームに報告をお願いします。
藤井副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の時間では、結論は出なかった。 ・ 現行と同じ内容を行うのか、中身を変えるかによって、大きく変わることが予想されるが、本日午後に実施する検討結果を受けないと不明 ・ いずれにしても、まだ検討は必要。再構築が必要かも含め、検討する。 ・ ただし、年度内には終わるような方向では考えている。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短い時間で決めるのは難しいので、午後に検討いただき、共有化に向けてメーリングリストで報告をお願いします。 ・ 国研修を受けて実施する中で、つながりの意識をどのように持ってくるのかということはかなり共有化したが、その点について時間が足りないので、次年度の新カリキュラムに向けて展開できるようにご協力いただきたい。 ・ 本日の検討事項は終了。事務局へ返す。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主任研修受講決定状況等について報告 ・ 専門コース別研修申込み状況について報告 ・ 演習指導者養成研修準備状況等について報告 ・ 国研修（演習部分伝達）について説明

3 閉会